

連携だより

3月



前号に引き続き、肩の症状の特集です。

肩で困った場合は放置せずに **肩専門医**に相談をしましょう。

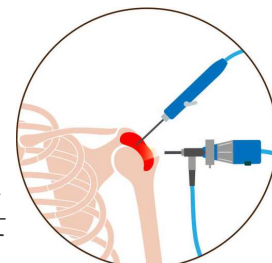


肩の病気ってどんなものがあるの？

腱板断裂、反復性肩関節脱臼(外傷性、非外傷性)、凍結肩(肩関節拘縮)

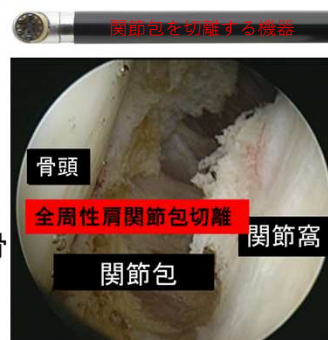
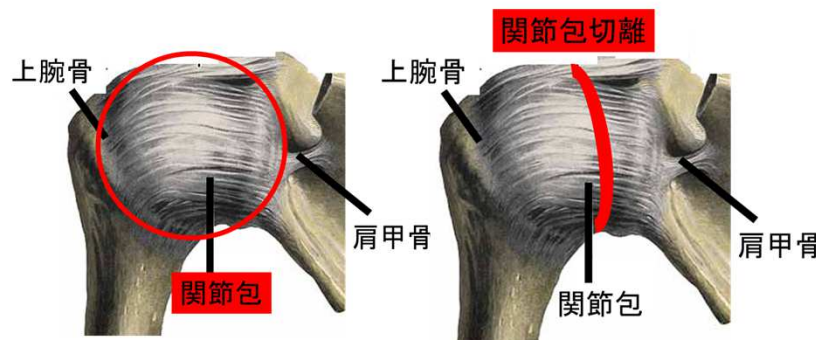
変形性肩関節症/腱板断裂症性肩関節症、スポーツ分野では**投球障害肩**があります。

診断は、総合病院である特色を活かし、理学所見から疾患を絞り込み**エコー、Xp、CT、MRI**検査を総合的に評価します。手術方法は、直視下に大きな皮切を用いて手術をしておりましたが、近年は**関節鏡**というカメラを使用した手術が主流になってきています。**皮膚に1cm程の小さい孔**を数箇所作成し、そこに手術機械を挿入して組織を切除したり、またアンカーという糸付きビスを骨に差し込み、その糸を利用して断裂した組織を縫合することで**低侵襲**での手術が可能となってきました。



凍結肩(五十肩のことです)

肩関節の骨の周りの**関節包(関節の嚢)**や**関節周囲(筋肉など)**の組織が固くなり**可動域制限**や**肩関節痛**が出現します。原因不明の特発性のものから、原因がある**続発性**のものまであります。凍結肩発症のリスクファクターは、**高齢、女性、糖尿病・甲状腺疾患・高脂血症**などが報告されています。この症状は発症から2年ほどで正常な肩関節に改善するという報告がある一方で、**平均7年経過しても症状が残存する**という報告もあり日常生活に支障がでることが多いです。治療法は、手術室で全身麻酔下に**鏡視下肩関節授動術(関節鏡を用いて肩関節内に手術機械を挿入し関節包を切除する方法)**や、**エコー下に斜角筋ブロック(頸部第5, 6神経根ブロック=肩の痛みを感じなくする麻酔)**をおこなったあとに**サイレントマニピュレーション(徒手の力のみで肩関節を強制的に動かし関節包を裂く)**を行う方法もあります。



鏡視下肩関節授動術(関節鏡を用いて肩関節内に手術機械を挿入し関節包を切除する方法)

松山市民病院

肩専門医

白石先生の外来日は

午前
火曜日・水曜日

金曜日午後
肩の専門外来



肩のことで、お困りの症状がありましたら、ご相談下さい。おひとりで悩まないで、一緒に病気に向き合いましょう!!



サイレントマニピュレーション

手術の写真などさらに詳しく説明した当院の肩外来のホームページはこちらの二次元バーコードからもアクセスできます。

